

令和3年度使用中学校教科用図書採択に係る第2回選定委員会議事録

- 1 日 時 令和2年7月15日（水）13：30～16：30
- 2 場 所 東広島市役所 北館3階 相談室2
- 3 出席委員 山田委員（委員長）、下野委員、脇坂委員、木原委員、宮田委員、松原委員
田中委員
- 4 調査報告者 三宅調査員（国語・書写）、植田調査員（地理・歴史・公民・地図）
村上調査員（数学）、森田調査員（理科）、今野調査員、三宅調査員（音楽）
竹原調査員（美術）、吉田調査員（保健体育）、新谷調査員（技術）
三原調査員、岩本調査員（家庭）、池田調査員、藤谷調査員（英語）
木村調査員（特別の教科 道徳）
- 5 事務局 小川学校教育部次長兼指導課長、高橋指導主事、三井指導主事
- 6 議事要録
 - （1）開会行事
 - ・委員長が、挨拶を行った。
 - ・事務局が、配付資料の確認ならびに審議手順①～④の提案を行った。
 - ①調査員代表から調査概要の報告を受け、質疑応答を行うこと。
 - ②審議を行うこと。（調査研究報告に対し、その妥当性と客観性について審議し、選定委員会としての推薦教科用図書を2社決定する。）
 - ③推薦教科用図書が決定したら、選定理由書の文案作成を行うこと。
 - ④審議結果を確認し、承認すること。
 - ・事務局の提案について、山田委員長が全体に諮り、この方法で進めることが了承された。

(2) 報告と質疑応答

中学校の10教科、16種目について調査員の代表から報告を受け、審議を行った。

① 国語の調査研究報告を三宅調査員が行った。

- () 国語科の場合は、教材文を読む目的というのが大切になってくると思いますが、単元構成の工夫においては、特に大きな差異というのは、なかったでしょうか。
- (三宅) 単元構成においては、大きな差異はなかったです。
- () 国語科で取り上げる教材というのは、教科書の構成において大切だと思いますが、各学年、これという教材は、網羅されていますか。
- (三宅) どの教科書も、各学年で代表的な今まで取り扱われてきたものについては入っている状況です。
- () その中でも特に工夫されているという点についてはいかがですか。
- (三宅) 東京書籍と光村図書については、今まで扱っていて評価の高かった教材は入っています。
- () 最近の国語の授業では、論理的な表現とか論理的に書くこととか言語活動の充実につながるとは思います。この点で特長のある教科書はありましたでしょうか。
- (三宅) 生活場面において、書く事柄について、単元や教材を組んであるのは、東京書籍でした。数も多かったです。
- () 主体的に取り組む点について、家に帰っても、また、教科書を読みたいと思えるようなところがあるとよいと思っているのですが、特によかった点を具体的に教えていただければと思います。
- (三宅) 東京書籍なのですが、自己の振り返りをする時に自分のことばで表現させ、これからの学習や生活でどのように生かしていくかを考えさせている点です。また、目標に対応した振り返りができるよう手引きが配置されている点です。

② 書写の調査研究報告を三宅調査員が行った。

- () 二次元コードというのが全ての教科書に入っていますが、それは教科書によって違う内容が閲覧できるのか、同じ内容が閲覧できるのか、いかがですか。
- (三宅) 教科書によって違いますが、会社によっては単元の最初に示されているものがあります。
- () それには差はないですか。
- (三宅) 使い方については、差はないと思います。
- () 国語と書写の教科書会社が異なった場合、使い方について良い点又は悪い点とかがありますか。
- (三宅) 特に会社が違っていても問題ありません。これまでも違っていましたが問題ありませんでした。
- () 三省堂と光村図書については、A版ですね。ということは、机で学習する時に、これが邪魔になるということはありませんか。
- (三宅) 東京書籍と教育出版がAB版で、三省堂と光村図書がA版となっております。AB版とA版は、縦の長さは同じですが、横の長さが少し違います。授業では、大体二つ折りにして机の上に置いて、その右側に半紙を置くのですが、AB版だと机からはみ出

て落ちてしまうことがあります、A版だと落ちることは少ないです。

() 書写は、非常に時間が限られています。わずかな時数と教材のバランスはいかがですか。

(三宅) 中身的にはどの会社もバランスは良いです。また、単元の中に、言語活動的な活動を入れている教科書もありますが、どの会社も時間数の中でやりきることのできるものになっています。

(調査員退出)

③ 地理の調査報告を植田調査員が行った。

() 観点1についての比較で、尖閣諸島に関する記述を読んでいたが、東京書籍には、「日本固有の領土という記述に加え、地理的特色を持っているか、考えさせるようにしている」とありますが、具体的にどういったことをされていますか。

(植田) 東京書籍は、特別にページが作ってありまして、他の教科書よりも少し記述が多めでした。またその中で、地図等を示して、どのような特色があるのかが示されていました。

() 地理の学習は、資料集と併用することが多いのですが、昨今の教科書を見れば、本当に資料が充実していると思いました。4社についても、資料についてはだいたい網羅されていますか。

(植田) そうですね。資料等につきましては、どの教科書についても、遜色ありません。

() 色使いも含めてですかね。

(植田) そうですね。

() 地理ということで、広島県とか東広島市の記述がある教科書はありましたか。

(植田) どの教科書も、広島県や広島市については、書かれていましたが、東広島市について書かれている教科書はありませんでした。

④ 歴史の調査報告を植田調査員が行った。

() 観点2の主體的に学習に取り組む工夫について、ICTのところ、どの教科書も生徒がやってみたくするような内容になっていますか。

(植田) そうですね。例えば、写真等の説明があったり、問題が出された後、その答えが出てきたり、それぞれ工夫はされていました。

() 教科書によっては、ない会社もありますか。

(植田) QRコードについては、東京書籍や帝国書院等では、多くのページで採用されていました。

() この度の学習指導要領では、深い学びがポイントになってきます。おそらく複数の資料を関連付けることが大切になってくるのではないかと思います。掲載されている資料の関係付けやすさについてはどうですか。

(植田) 例えば、変化や推移について考えさせる問題が多く、年表、写真や文章を合わせて考えさせるような工夫がありました。また、考えやすくするレイアウト等の工夫もありました。

⑤ 公民の調査報告を植田調査員が行った。

() 教科書によって書き方が違って、丁寧に書かれているものもあれば、あっさり書かれているものもあると思います。現場としては、どちらが使いやすいでしょうか。

(植田) 全体を把握させる学習をしていこうと思えば、思考ツールや章の途中の問い、指導の観点が書かれているものが、非常に活用しやすいだろうと思います。

() 東京書籍の「18歳へのステップ」について、報告書では、他の教科書には、この件についての記述はないのですが、選挙権年齢、成人年齢引き下げに対応するような記載は多少ありますか。

(植田) ありますが、特設コーナーがあるのはここだけです。

() 帝国書院には、「先輩たちの選択」でのインタビュー形式というぐらいで、これについては東京書籍、それから帝国書院がそれに続くぐらいですか。

(植田) はい。

⑥ 地図の調査報告を植田調査員が行った。

() 帝国書院と東京書籍で、大分大きさが違っていますが、使いやすさにどうつながりますか。

(植田) 全てではありませんが、縮尺がより大きく、サイズが大きな帝国書院の方が、詳しい地図になっていました。また、重さを比べました。帝国書院は、判が大きいので、重さも重いのではないかなと思ったのですが、測ってみると、ページ数はほぼ同じでしたが、東京書籍の方が重かったです。

() 統計のデータについての充実度はいかがですか。

(植田) どちらも遜色はないと思います。

() 地図をどうしてもどこかで、切らないといけないので、もうちょっと見たいとか、例えばヨーロッパの半分で切れているとか、その点はいかがでしょう。

(植田) 帝国書院の方が判で大きいので、基本的に大きな地図になっておりますので、切れ目はそう変わりませんが、細かな地図が多かったです。

() 観点4について、色彩・デザインには、両社ともかなり配慮されているとありますが、意図を感じるところはありましたか。

(植田) どちらも、特別支援教育の視点での編集がされていますので、その点では大きな差はありません。ただ、東京書籍の方には、「色覚問題研究グループぱすてる」というところが、校閲に入っていました。

⑦ 数学の調査報告を村上調査員が行った。

() 東京書籍のつまずきの例についてですが、具体的にどんな間違いが、どのように説明されていて、どんな印象をもたれましたか？

(村上) 間違い例というものでは、先ほど言った「全国学力・学習状況調査」の中で、特に大きな課題というのがありまして、例えば、文字式の計算で、乗法と除法の混じった計算で、左側から計算すればいいのですが、除法の後に乗法があると、生徒は分数にしたいくないから、右側の乗法を先に計算してしまうことがあります。そういう間違い例を示して説明させる問題があります。他社でもあるのですが、やっぱりここどうし

でも押さえておきたいところでは、東京書籍が、間違い探しを行っている部分で的確だったというのがあります。

() 数学となると、抽象的な表現が多いと思いますが、日常生活の場面との関連ということが大切になってくると思います。その中で、東京書籍で導入が見られるというか、その他の教科書ではそこまではなかったということですか。

(村上) いえ、実はどの会社も差がそこまでありませんでした。ただ、調査員との話の中で、例えば、コンビニで特に売れているものは何か、そして次は何を仕入れますか、というような題材等の生徒に取り組んでみたいと思わせるような新たな題材が、東京書籍が少し多かったなと思います。

() これから、小中一貫ということが増えてくると思いますが、小学校で算数につまずいている子は、中学校に行ってもやはり難しい場面がたくさんあると思うのですが、中学校の教科書で、小学校での要点が説明されている部分が付け加えられているところがありますか。

(村上) そうですね、その部分で言いますと、今回、一番に選んでいる東京書籍が、普通1章、2章、3章と進んでいくのですが、0章という章が作られており、小学校との連結を図っています。他の教科書会社も小学校の復習はありますが、0章という形で立ち上げてやっているのは、斬新だなと思います。小学校との連携を意識されていますが、実はどの教科書も高校までの連携も意識されています。そういった工夫があります。

() 他教科との関連はどうですか。

(村上) 他教科との連携については、教科書のどの会社も、いろいろなマークが付いておりまして、そのマークから、デジタルコンテンツ、デジタル教材にすぐとべるようになっていました。

() デジタル教材が、これから重要になってくると思うのですが、使いやすさであるとか、生徒が理解しやすい部分で差がありましたか。

(村上) 全員で全部の教材をチェックしていく中で、ほほうと感心させられるものが多かったです。その中で、東京書籍は、生徒が興味をもつことができるよう構成されており、数も多かったです。数研出版も、教材的にはたくさんあるのですが、それは提示がメインでありました。提示については、先生なりのやり方があって、そこはそんなに重要ではなかったですが、操作活動については、東京書籍がかなり充実していました。特に今回、「データの活用」が、新たに加わった内容になり、先生方がかなり不安に思っておられます。そこを補える良い教材が入っていました。

⑧ 理科の調査報告を森田調査員が行った。

() 理科の場合は、どうしても実験場面がありますが、安全面への配慮の部分については、特に差はありませんでしたか。

(森田) はい。写真や説明、字の色を変えるなど、それぞれの教科書に工夫がありました。

() 理科において、伝統や文化と繋がっているのが、あまりイメージできないのですが、東京書籍や大日本図書はかなり充実していましたか。

(森田) 大日本図書が、タイトルに日本の文化というのを挙げて、分かりやすく提示されているのがこの教科書だけでした。他は、関連する内容がそこに載っているということで、

ないことはありません。すべての教科書にありましたけれど、ぱっと見て分かりやすかったのが大日本図書だったということです。

() 観点5の言語活動の充実について、理科はすごく課題解決型のものが多いと思いますが、例えば、大日本図書に、「地球の明るい未来のために」という壮大な課題解決的なテーマとかもあります。他社にもそのようなものはありましたか。

(森田) 課題を与えるようなテーマは、各社とも工夫されていました。言語活動という部分では、子供たちが話し合い活動をしたり、考えを交流したりする場面での方法や、理科の実験後に考察する場面、イメージをもたせるために、分かりやすく説明している会社がありました。

⑨ 音楽一般の調査報告を今野調査員と三宅調査員が行った。

() 歌唱教材や鑑賞教材の数ですが、2社とも、そんなに差はなかったですか。

(三宅) 取り上げている曲数については、差はないとは思いますが、扱っている合唱曲については、教育芸術社の方が、子供たちの音域に合っていると思います。

() ICTの活用については、教育出版社は、どんな感じだったのでしょうか。

(今野) 教育出版社の方も、ホームページやアドレス等も掲載をされていましたが、どちらかというと、教育芸術社の方が、QRコード等を使って、分かりやすく学習できるような工夫がされていました。

⑩ 音楽器楽の調査報告を今野調査員と三宅調査員が行った。

() 東広島市では和文化教育に、どの学校も力を入れて取り組んでいると思いますが、そういうことをイメージしながら、調査されたということですか。

(三宅) 和楽器等の説明において、教育芸術社の方が、今の楽譜ではなく、当時の楽譜を使って示しているなど歴史を感じさせる工夫がありました。これは、深い学びにつながると思います。

() 広島県とか、東広島市とかとのつながりがありましたか。

(三宅) 特に東広島についての記述はありませんが、どちらの教科書も民謡については日本全国幅広く扱われていました。

⑪ 美術の調査報告を竹原調査員が行った。

() トレーシングペーパーを閉じこんでいるというのは、例えばどんな作品に対して閉じこんであって、どういうことを目的としているのでしょうか。

(竹原) レオナルド・ダ・ヴィンチの「最後の晩餐」において、パース透視図法遠近感の物を見るのに、上にトレーシングペーパーを重ねて線を引いて、どこが視点や焦点になっているとか、どういうパースがつけられているかということがわかるようにしています。

() 光村図書と、日本文教出版に対しては、QRコードを掲載して、動画などで鑑賞できると書いてあります。開隆堂はいかがですか。

(竹原) 開隆堂にもありますが、あまり重きを置いていないような構成で、QRコードで読み取った最初のページが、文字だけで、タイトルが現れてきました。また、動画がある

とか、360度の角度から鑑賞できるということまではなかったということです。

() 光村図書と日本文教出版の違いは何ですか。

(竹原) 観点2のところで、主体的に学習に取り組んでいくというところで、光村図書は、表現と鑑賞を一体的に扱うということができていたと思います。最初に鑑賞して、次に製作して、そしてまた鑑賞に戻るというように、一体的に扱うように、教科書が構成されていると思います。他の教科書も、鑑賞と表現はあるのですが、一体的に扱っているというのはなかったです。美術の場合は、1時間鑑賞だけするというものもありますが、実は何時間もかけた題材の中で、鑑賞で始まって、表現して、また鑑賞して終わるということが今までやってきた中で、目新しいというか、なるほどなと思いました。

⑫ 保健体育の調査報告を吉田調査員が行った。

() 東京書籍だけが学年ごとに、保健分野が最初にあって、他社は体育理論があるという構成になっているのですが、そこに何か不都合な点はあるのですか。

(吉田) 調査員の中の話で、不都合かどうかの話も出ましたが、関係はないだろうということになりました。

() 生徒指導との関連で、薬物使用や喫煙について記述に差はなかったですか。

(吉田) その点については、各教科書すごく工夫をして、ロールプレイを取り入れている会社もあり、工夫が見られました。

() 観点4の内容の表現表記である小学校との関連については意識されていますか。

(吉田) そうですね。小学校との関連もあるし、当然高校との関連ということも大切になってきます。

() どの教科書も、高校との関連を取り上げていますか。

(吉田) どの教科書も、そこが大事であると意識して作られています。

() 武道については、どの教科書も同じような表記ですか。

(吉田) 武道というか、和文化との関わりは、どの教科書も書いてありますが、体育の教科書について、実技に関しては教科書というのはありません。ですから、教科書の中で武道について詳しく書いてあるということはありません。しかし、体育理論とその全体の中で和文化を扱っており、どの教科書も、和文化と武道との関連のコラムなど様々な形で教科書に入っています。

() タイムリーな話なのかもしれないですけど、新型コロナウイルス感染症との関係で、感染症というものに関して、今までとは違う何かはありますか。

(吉田) 「新型コロナウイルス」という言葉は、載っていません。感染症については載っていますが、まだ流行していない時期に作られています。今後、ネットを活用して調べる等の形で、学習していくようになると思います。

⑬ 技術・家庭（技術分野）の説明を新谷調査員が行った。

() 技術においては、作業が多いと思いますが、観点4の部分で、3社とも、安全への配慮についてのマークが付いているとありますが、その中で、特に目を引くものとかありますか。

- (新谷) どの教科書会社も安全面については、場面に応じた設定がされています。その中で、どの教科書会社が、というのは特にありません。製作過程において気を付けなくてはいけないこと等も、どの教科書会社にも書かれておりました。
- () 今回の学習指導要領の改訂で、プログラミング教育が導入されて、そのことについて何か差があるのかということと、昨今話題となっている情報モラルについての記述について特長があれば教えてください。
- (新谷) 技術の教科書は4つの編から構成されています。プログラミングに一番多く分量を使っていたのは、教育図書でした。充実していましたが、逆にそれ以外のところの内容が少し薄くなっていると感じました。情報モラルについても、様々な視点から見てるので、どこも大きな差があるとはいいいがたいです。
- () 多くの教科書でQRコードを使っていますが、その点はいかがですか。
- (新谷) デジタルコンテンツを活用するものはどれもあります。ただ、載せ方の違いがありまして、東京書籍は、最後の方のページにデジタルマークコンテンツ一覧として、まとめて提示しています。他の教科書は、その都度載せております。東京書籍は、授業中、生徒の意識がそこに集中してしまうのを防ぐため、一番後ろにまとめたのだろうと考えています。

⑭ 技術・家庭（家庭分野）の説明を三原調査員、岩本調査員が行った。

- () 五大栄養素と6つの食品群について、東京書籍は折り込みページで示してるということですが、この部分は他と比べて、中身として、どういうところが充実してるかというところを教えてくださいなのですが、いかがでしょうか。
- (岩本) 東京書籍と教育図書は見開きページで示しておりまして、東京書籍は、縦に食品群を並べ、教育図書は、横に並べています。開隆堂は3ページに渡って並べています。栄養素のつながりについて、生徒はなかなか理解できない実態があります。その中で、東京書籍は、見開きページにより6つの食品群が一目で分かるようになっており、食品については、写真を載せて文字を小さくし、食品に重ならないようにしているので、レイアウトにも工夫があり、ビジュアル的に分かりやすいと感じます。
- () 観点1の基礎・基本の定着に新設された「高齢者との関わり」について書いてあります。東京書籍は、「生き生きと高齢期を送る方の資料」と書いてあります。教育図書と開隆堂には、高齢者の一般的な体の特徴、基本的な介助の方法が学べるようにイラスト等も使って書いてあります。この点については、いかがですか。
- (三原) 学習指導要領の中で、高齢者の体の特徴と介助の仕方については、学習すべき内容となっているので、3社とも書いてありますが、東京書籍は、それにプラスして、3人の著名人をコラムのような形で紹介し、高齢者の方の生き生きと活動している様子が書かれています。
- () 家庭分野なので、家庭生活へ活かすことが望ましいと思いますが、教科書の中に発展的な内容といったものは存在しているのかということと、もし、それがあれば、その例を紹介していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。
- (岩本) 各社、様々な工夫がありました。調理実習の後に家で実践する場合に、「家でこんなアレンジができますよ」というものはどの教科書会社もありました。

- () では、特に教科書会社によって、大きく差はないということですか。
- (三原) 蒸す調理法についてですが、最近、蒸し器がある家庭が少なくなっています。蒸し器がなければ、家にあるものを使ってこのような方法で蒸し器の代わりにすることができますよ、という方法が載っていました。

⑮ 英語の調査報告を池田調査員、藤谷調査員が行った。

- () 聞くこと、話すことについては、QRコード等で、ある程度今までより補えると思うのですが、その点において各社ともそういったものが充実しているのでしょうか。
- (藤谷) 各社、提示の方法として、文字を掲載しているもの、映像があるもの、あとはリンクを貼っているもの、大きく三つのタイプがありました。その中で、アニメーションがあったのが東京書籍、これは結構長いユニットでありました。また、光村図書は教科書の挿絵をスライドの形にしたものを掲載していました。さらに、学習に役立つサイトへのリンク先を貼ったものもあり、役立つと思います。全社とも本文と単語の音声はあったので、教科書があれば、QRコードを使って自分で学習することができるようになっていました。
- () QRコードを使うと、例えば本文の音声とか、映像が流れるのですか。
- (藤谷) はい。また、三省堂はQRコードに何が載っているかの記載がありました。さらに、啓林館であれば、文章や単語が載っており、単語をタップすると日本語の意味が表示されたり消えたりする工夫がありました。
- () 観点2について聞きたいのですが、主体的に取り組むという点で、場面設定の工夫がポイントになってくるとはと思いますが、そういう点で教科書の中で、大きな差はなかったですか。
- (池田) トータルで見ると、どの教科書も大きな差はなかったです。そのレッスンの一つの場面を見ると、それぞれ特徴があります。1冊の教科書を通して、関連している会話を取り上げている会社もありますし、單元ごとに違う場面設定になるという会社もあります。そこに大きな差は感じませんでした。
- () 小学校のつながりについては、報告書にも書いてありますが、高校や実社会における発展的な内容についてはいかがですか。
- (池田) どの教科書もそこは、すごく大事にされているところだと感じました。そこに差はほぼないと思います。
- () 英語では、この観点5の言語活動の部分で、やり取りということが重視されていますが、それぞれの教科書でそういうところは、意識された構成になっていますか。
- (藤谷) 三省堂は、聴くから始まって、次に話す、最後に書く、その順番で毎回見開き構成になっています。左側に載っている新しい文法が右側で習得できるような構成になっています。他の教科書によると、そういうところがなかったり、モデルだけあって、フリーに会話しましょうというものもあったりして、それはフリー過ぎて、難しい場面もありました。

⑯ 道徳の調査報告を木村調査員が行った。

- () いじめ問題について伺いたいのですが、観点3で書いてあるように、各出版社とも意

識しているのですが、発達段階に応じて、例えば5月、6月に行うなど系統的に行っているなど、顕著な違いはありましたか。

(木村) 時期とかの配慮と同時に、生徒の実態に合わせて柔軟な展開に教師ができるというところが数社ありました。

() いじめ問題に関連して、スマホなどに関連したいじめ問題もあるわけですね。

(木村) そうですね。そこについては、各社とも関連付けて載せておりました。

() いじめの話とか時期的な配列等で、工夫があるということでしたが他に、この時期にこの話を、というような工夫はありましたか。

(木村) 東京書籍は教材の数が35より多く掲載しており、生徒の実態に応じて教材の工夫をすることができます。

() 別冊ノートについて、ある教科書会社とない教科書会社がありますが、あった方が授業を進めやすいのでしょうか。それとも、別冊ノートはなしで、ワークシート等を作る方が授業を進めやすいのでしょうか。

(木村) 別冊ノートがあれば良いということではありません。独自のノートをいかに使いこなすかということとか、かえって授業の自由度がなくなるので、生徒の実態に応じてワークシートを作成することも良いと思います。だから、別冊ノートがあれば良いということではありません。

(3) 審議

【国語】

() 東京書籍と光村図書は、読書活動や言語活動を通して、主体的な学びが行えるような工夫があると思います。

() ユニバーサルデザインについて、どの教科書会社も意識されていますが、特に東京書籍は、生徒にとって重要な部分の判別がしやすいように、文字の大きさと書体、罫線や囲みの使い方、色使いを工夫している部分でより見やすくなっていると思います。

() 光村図書は手引きが丁寧で、生徒が学びやすいようになっていると思います。

() 東京書籍は、読んで分かる部分が多く、学力に課題がある生徒にとっても安心して学習に取り組めると思います。考えろと言われても、どうやって考えたらよいか分からない生徒もいます。そういう意味では、生活に結び付けた題材や他教科へのつながりもあるので、生徒がより主体的に学べるようになっていると思います。

(山田) 主体的な学びの部分で東京書籍が工夫がみられるということで、第1推薦が東京書籍、第2推薦が光村図書ということでよろしいでしょうか。

(全員) (よろしいの声)

【書写】

() 東京書籍と教育出版はAB版なので、生徒の机から落ちやすいですね。その点、三省堂と光村図書は、A版なので、机に収まりやすいのでよいと思います。

() 内容的には、三省堂と東京書籍は、授業で習った内容を生活の中で生かす単元があり、つながりを重視していると思います。

() 三省堂は、筆の運びを青矢印で示しており、生徒にとって把握しやすいものになって

いると思います。

(山田) では、総合的に判断して、第1推薦が三省堂、第2推薦が東京書籍ということによろしいでしょうか。

(全員) (よろしいの声)

【地理】

() 東京書籍と帝国書院は、内容の構成や既習事項とのつながりについて、丁寧に作られている印象がありますので、生徒にとって分かりやすく示されていると思います。

() どの教科書会社も学習課題から始まり、その解決に向けて知識を身に付け、その解決にむかうという流れができていますので、生徒にとって学習しやすくなっていると思います。その中で東京書籍は、まとめの活動で、探究課題を提示し、作業や体験活動を通して深い学びにつながっていると思います。

(山田) では、第1推薦が東京書籍、第2推薦が帝国書院ということによろしいでしょうか。

(全員) (よろしいの声)

【歴史】

() どの教科書も地図や年表を見開きページの中にレイアウトをして、分かりやすくされていますね。

() 帝国書院と東京書籍は、章のまとめ方に工夫が見られますね。帝国書院は、生徒に説明させるのに、考えを整理させ、話し合いを通して考えを深めさせ、説明させるという流れが統一されているのがよいと思います。東京書籍は、章のまとめの部分で、クラゲチャートやピラミッドストラクチャ、ウェビングなどの思考ツールを用いてより効果的な話し合いを行わせ、思考・判断・表現をより深い形にさせようとしているところは、素晴らしいと思います。

() 東京書籍は各単元の冒頭部分で、単元全体を貫く問いを設定した探究課題を立て、章のまとめでその課題解決を行っている部分で、導入からまとめまでを、より一貫して進められると思います。

(山田) では、第1推薦が東京書籍、第2推薦が帝国書院ということによろしいでしょうか。

(全員) (よろしいの声)

【公民】

() 東京書籍と帝国書院は、説明の文章量が多すぎることなく、写真や挿絵等のバランスがよいですね。また、発展的な学習も多く思考を深める手立てもしっかりしていると感じます。

() 帝国書院は、「アクティブ公民」というコーナーがあって、現代の課題について生徒に考えさせる内容があるのは、いいですね。

() 東京書籍は、公民でもまとめの活動で様々な思考ツールが使われていますね。

() また、東京書籍は、1つの事象について、地理・歴史・公民それぞれの視点から考えさせる部分があるので、生徒はより広い視野に立って考えることができます。

(山田) では、第1推薦が東京書籍、第2推薦が帝国書院ということによろしいでしょうか。

(全員) (よろしいの声)

【地図】

() 東京書籍は、歴史や公民とのつながりを示すマークがあるので、歴史や公民でも地図帳を活用しやすくしていると思います。

() 帝国書院の地図帳は、東京書籍よりも大きいですね。これは、生徒にとって見やすいものになっていますね。

() さらに、地図を活用するコーナーもあるので、これまで以上に地図帳を活用できるものになっていますね。

() 帝国書院は、折り目の部分も工夫が見られます。また、東京書籍よりも大きいにも関わらず、少し軽いですね。生徒にとっても持ち運びしやすいです。

(山田) では、第1推薦が帝国書院、第2推薦が東京書籍ということでよろしいでしょうか。

(全員) (よろしいの声)

【数学】

() 「データの活用」領域において、東京書籍と日本文教出版はデジタル教材が充実しています。生活や社会に関連した教材も充実しています。

() どの教科書も小学校や高等学校とのつながりを意識したものになっていますが、東京書籍は、0章という形で設定しているおり、生徒にも算数から数学への意識が高まると思います。さらに、題材も九九表を取り上げているので、算数が苦手な生徒も取り組めるような内容になっていると思います。

(山田) では、第1推薦が東京書籍、第2推薦が日本文教出版ということでよろしいでしょうか。

(全員) (よろしいの声)

【理科】

() 東京書籍と啓林館は、主体的な学習につながる単元を貫く工夫がより具体的であり、その解決に向けて、資料等の提示に工夫がみられるのでいいと思います。

() 啓林館は、章の最初に課題を設定して、章の終わりにその課題を振り返る形になっているので、単元を貫いた学習構成になっていると思います。

() 東京書籍も各章の始めと終わりに課題を提示し、その変化について考え表現させる工夫が見られます。さらに、授業の流れを見通すことができるフローチャートを示しているため、探究的な指導がよりスムーズに行えると思います。

(山田) では、第1推薦が東京書籍、第2推薦が啓林館ということでよろしいでしょうか。

(全員) (よろしいの声)

【音楽（一般）】

() 東広島市は昔から合唱に力を入れている学校が多いと聞いています。その点で、教育芸術社は、発声においては発達段階に応じて指導できる構成になっているのはよいですね。また、授業でも様々な指導方法が考えられると思います。

- () 教育出版は学習活動のポイントが示され、音楽活動がしやすい構成になっています。
- () 2社を比べた時に、教育芸術社の方が、楽譜や写真が大きく掲載されているなど視覚的工夫が見られるので、生徒の興味・関心を引きやすいと思います。
- (山田) では、第1推薦が教育芸術社、第2推薦が教育出版ということよろしいでしょうか。
- (全員) (よろしいの声)

【音楽（器楽）】

- () 教育出版は、「名曲旋律集」があり、クラシック音楽のメロディを掲載することで、これまでの知識・技能を活用できるような工夫がありますね。
- () 教育芸術社は、紹介している楽器の種類が多く、写真やイラストが多いため、視覚的に興味・関心を引くような構成になっていますね。
- () また、楽器の種類を紹介しているだけでなく、奏法のポイントを示すなど、生徒が主体的に学べるような工夫が多いと思います。
- (山田) では、第1推薦が教育芸術社、第2推薦が教育出版ということよろしいでしょうか。
- (全員) (よろしいの声)

【美術】

- () 光村図書と日本文教出版は、QRコードから作品の360度動画を見ることができるなどの工夫があるので良いと思います。
- () 光村図書は、教科書の中にトレーシングペーパーがあり、それを活用することで、鑑賞をより深めることができるのでよいですね。
- () 光村図書は、表現と鑑賞を一体的に学習できる工夫があるのでよいと思います。
- (山田) では、第1推薦が光村図書、第2推薦が日本文教出版ということよろしいでしょうか。
- (全員) (よろしいの声)

【保健体育】

- () 東京書籍と大修館は、章のまとめなどの振り返り問題が充実しています。また、日常生活や自分に置き換えて考えるなどの工夫が見られますね。
- () その中で、大修館は、章のまとめの問題で、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「課題にむけて」という育成を目指す資質能力の観点に沿った構成になっているので、よいですね。
- () 大修館はコラムも豊富で、保健の見方・考え方を身に付ける取組がよいと思います。
- (山田) では、第1推薦が大修館、第2推薦が東京書籍ということよろしいでしょうか。
- (全員) (よろしいの声)

【技術・家庭（技術分野）】

- () 開隆堂は、写真やイラストを効果的に使って基礎的な技能を身に付けるように工夫がありますね。
- () 東京書籍も写真やイラストを上手にを使って、見るだけで分かるような工夫があります。

さらに、話し合い活動を充実させる工夫があったり、思考ツールを利用して考えをまとめることができるような設定があったりするのによいですね。

() そういう意味では、東京書籍がより主体的で協働的な学びを展開することができると思います。

(山田) では、第1推薦が東京書籍、第2推薦が開隆堂ということによろしいでしょうか。

(全員) (よろしいの声)

【技術・家庭（家庭分野）】

() どの会社も写真やイラストのレイアウトに工夫が見られますね。例えば五大栄養素と6つの食品群について、東京書籍と教育図書は折り込みページを使っているので、一覧で見やすいですね。

() 東京書籍は、「蒸す調理法」で家に蒸し器がない場合の蒸す調理法があるのがよいですね。家庭でも活用しやすいですね。

() 東京書籍は、生徒の将来の生活を見据えた視点で知識・技能の習得をさせようと工夫が見られるのでよいと思います。

(山田) では、第1推薦が東京書籍、第2推薦が教育図書ということによろしいでしょうか。

(全員) (よろしいの声)

【英語】

() 東京書籍は、読解や表現に役立つ語彙をイラストで示すなどの視覚的な支援が多く、言語の使用場面に合わせた表現リストを掲載するなどの工夫があるのがよいですね。

() 三省堂は、1単元に、基礎・基本の習得とそれらを活用するための題材が設定されているので、生徒にとって学習しやすくなっていると思います。

() 三省堂は、内容構成や配列、分量ともバランスが良く、主体的に学ぶための題材も多く設定されているのがよいですね。

(山田) では、第1推薦が三省堂、第2推薦が東京書籍ということによろしいでしょうか。

(全員) (よろしいの声)

【道徳】

() 日本文教出版は、3年間を通して体系的・計画的に配置されているところがよいですね。

() 東京書籍は、人間としての生き方を深く考える多様な教材があります。また、現代の諸課題についても考えさせる教材が豊富ですね。発問も2問程度で、生徒の実態に合わせて授業展開を構成することができます。

() 東京書籍は、教材の冒頭部分に主題名がないので、生徒は、より多面的に考えることができます。

(山田) では、第1推薦が東京書籍、第2推薦が日本文教出版ということによろしいでしょうか。

(全員) (よろしいの声)

（３）選定理由書の作成

各種目ごとに選定理由書を作成した。

（４）審議結果の確認

山田委員長が、審議結果並びに報告書について全体に諮り、了承された。

○ 7月30日（木）の教育委員会会議に山田委員長が出席し、決定した推薦内容について説明を行うことが了承された後、閉会した。